



第 4 期（2022. 8～2023. 3）事業報告

1. 総括

第 4 期（22. 8～23. 3）事業は概ね計画通り進んだ。一部は計画以上の成果を挙げた。

2. 詳細

具体的には次の通り。

1) ビジョン 1「現代社会に山積みになっている社会課題解決に参画」

* ちくご川関係地域にとっての社会的課題：「地域の持続可能化」

a) 視点 1「次代を担う若者の社会への参加」

① 子ども若者応援助成事業

・ 子ども若者応援助成の継続

第 3 回助成事業は、200 万円（6 件程度、期間 23. 4～24. 3）の予算を組んでいるが、22 年年末から 23 年年始にかけてのクラウドファンディングにより 217 万 8 千円の寄付を頂き、23 年 5 月までに 100 万円の寄付を集めるという当初計画を大幅に上回った。柳田 P0 及び庄田 P0 の働きに感謝。

また、応募要綱も確定し、3 月 6 日から 4 月 10 日まで実行団体公募を行い、14 団体の申請があった。（* 5 月 16 日臨時理事会で 6 団体 176 万円の助成を決定）

② 休眠預金等活用事業

・ 2020 年度通常枠事業（20. 11～24. 4）＜助成規模約 3, 500 万円＞

－わたしと僕の夢（久留米）：貧困家庭の子ども若者の孤立解消と育成

－みんなの家みんな（朝倉）：養護施設退所者の居場所・故郷創りと過疎地支援
中間評価を作成し、最後の 1 年に向けて事業計画を改定。両団体ともに課題はあるが、それぞれの課題を克服し、社会的インパクトを与える短期アウトカムを達成

することが期待される。3 月 21 日に年次報告会を実施。

・ 2021 年度通常枠事業（22. 3～25. 2）＜助成規模約 4200 万円＝3 団体×1400 万円＞

* テーマ：誰一人取り残さない居場所づくり～学びの場における孤立解消と育成

－家庭教育研究機構（飯塚）：校内フリースクール（FS）創設

－未来学舎（久留米）：居場所、学び、就職の総合的学びの場の創造

－箱崎自由学舎 ESPERANZA（福岡）：

FS 等への行政助成実現に向けてのネットワークづくり及びアドボカシー

事前評価書を高いレベルで作成。また、当初から事業が発展的にかつ予定より早いペースで進んでいる。2 月 11 日に事前評価ワークショップ開催。

・ 2022 年コロナ随時枠事業（22. 9～）

宮崎文化本舗を幹事団体とするコンソーシアムに参加したが、不採択となり、23 年度通常枠での申請を行う方向で検討を開始したが、同幹事団体から連絡なく、見



送りの模様。

・2023年度災害支援枠で YNF とコンソーシアムを組んで 23 年度に休眠預金等活用事業資金分配団体申請する提案が YNF からなされ、随時枠で YNF が幹事団体になり申請する予定。

③ その他事業

・災害支援、伴走支援に必要な車両を取得するべく、年賀状寄付助成申請を行ったが、3月29日に不採択通知が接到了。

b) 視点2「自然災害への対応」

○ ちくご川関係地域の自然災害被災者支援のための方策

① 災害支援基金の立上げと広報

・ホームページ（HP）新装に合せ、基金を立ち上げ、常に HP で広報できるようになった。柳田理事に感謝。

② 被災者支援団体の支援

・特定非営利活動法人 YNF は、鳥飼校区まちづくり協議会との連携を深めている。CCF が事務局を務め、鳥飼校区まちづくり協議会及び同校区社会福祉協議会共催の被災者支援地域円卓会議を開催したが、その際 YNF は課題提起者として参加してもらい、市役所や久留米市社協との協力関係を築くことができた。また、CCF 事務所の倉庫で YNF 支援機材を保管しており、CCF が拠点とネットワークを提供し YNF の活動を発展させる役割を果たし始めた。

・（公財）CIVIC FORCE（CF）及び（社）北部九州河川利用協会との協働関係構築・強化に向けての活動はまだ進んでいない。CF とは、CF がもつ Good Links の福岡県での活用について協議中。

2) ビジョン2「CCF 自身が主体的に公益を担う力を持つ」

a) 組織基盤の確立

① ファンドレイジングの強化

・柳田 P0 が准ファンドレイザーの資格を取得し、CCF は二人の准ファンドレイザーを擁する稀有な財団となった。

・柳田 P0 は、CCF を寄付月間アンバサダーとし、CCF の名を全国に知らしめるとともに、クラウドファンディングを成功させた。

・今後、ファンドレイジングの戦略をたて、企業・団体・個人への働きかけ、各種助成金の活用、収益事業等を進めていく。これまで水曜勉強会の有料化、出前講座などを庄田 P0、柳田 P0 の主導の下実施。

② NPO 等支援ふるさと納税制度の採用を久留米市に働きかける。

・久留米の CSO（市民社会組織）と勉強会を始めてはいるが、第4期に新しい働きかけは行っていない。4月に久留米市議会議員選挙も行われる予定で、市議会議員候補に働きかけを行う意向はあったが、実際にはできなかった。

③ 人事体制の充実

・常任理事5名（うち2名は常勤 P0、また1名は統括 P0）、P0 補佐1名、庶務職員



1名の体制が固まった。

④ 公的な認証の取得

・22年11月、非営利組織評価センターのグッドガバナンス認証を福岡県で初めて取得。23年度中に公益財団法人化を行う下地ができた。

b) 財団内人材の育成と協カネットワークの構築

① 常勤プログラムオフィサー2名体制の強化のため、PO補佐を雇用。

② 協カネットワークの構築

・助成先団体の関係強化が進み、常に連絡が取れる体制になった。
 ・(社)北部九州河川利用協会、(公財)CIVIC FORCEとの連携協定締結は進んでいないが、YNFとの関係強化が進んでいる。

◎ 事業の歩み

事業等名	22.8~22.12	23.1~23.3	23.4~23.5
子ども若者応援助成 休眠預金等活用事業	クラファンの実施	公募要領更新開始	公募・審査採択・助成
・20年度通常枠	中間評価	23.3年次報告会	伴走支援
・21年度通常枠	事前評価	23.2事前評価WS	伴走支援
・22年度随時枠	コンソーシアム(従団体として)不採択		
自然災害支援拠点 情報提供と意見交換	水害基金立上げ能力強化・拠点として確立		
・円卓会議	22年5月鳥飼校区被災者支援円卓会議実施		
・社会課題講座	水曜勉強会の有料化と連続講義		
ファンドレイジング	准ファンドレイザー2名体制による戦略的アプローチ		
NPO等支援ふるさと 納税久留米市導入	CSOの結束づくりと市・市議会への働きかけを散発的に実施		
人的体制	現体制の強化		
公的認証の取得	22.11 評価認証取得		公益財団法人化申請準備
ネットワークづくり	○	→ → → → →	→ → → →

(了)

令和4年度 正味財産増減表
自2022年8月1日 至2023年3月31日

一般財団法人ちくご川コミュニティ財団

単位：円

2023.4.1.

科目	3年度実績	4年度実績	前年比
1. 一般正味財産の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	28	28	0
基本財産受取利息	28	28	0
特定資産運用益	89	78	-11
特定資産受取利息	89	78	-11
事業収益	0	0	0
受託事業	0	0	0
その他の事業収入	0	0	0
受取補助金等 (a)	26,339,292	27,666,305	1,327,013
国庫補助金振替額	0	0	0
民間助成金振替額	26,339,292	27,666,305	1,327,013
寄付金	2,950,588	2,796,888	-153,700
分野指定寄付額	0	0	0
プロジェクト寄付額	0	0	0
支援事業寄付額	0	0	0
財団応援寄付額	0	0	0
設立発起人寄付	0	0	0
一回寄付 2021/7~	1,751,188	281,888	-1,469,300
継続寄付 2021/7~	363,000	177,000	-186,000
企業寄付	836,400	160,000	-676,400
クラウドファンディング(子ども若者基金)	0	2,178,000	2,178,000
雑収入	100,023	40,010	-60,013
受取利息	23	10	-13
雑収入	100,000	40,000	-60,000
雑損失	0	627	627
支払利息	0	627	627
営業外損失	100,023	39,383	-60,640
経常収益計 (b)	29,390,020	30,502,682	1,112,662
(2) 経常費用			
事業費	26,339,292	29,466,000	3,126,708
役員報酬	1,048,811	1,362,880	314,069
給料手当	3,488,307	6,395,871	2,907,564
福利厚生費	0	0	0
法定福利費	0	0	0
外注費	0	0	0
旅費交通費	22,140	206,186	184,046
通信費	177,287	37,716	-139,571
寄付金	0	0	0
助成金	14,927,225	18,628,790	3,701,565
会議費	66,808	101,120	34,312
地代家賃	350,000	320,000	-30,000
水道光熱費	27,600	88,160	60,560
消耗品費	10,763	29,916	19,153
租税公課	1,200	0	-1,200
研修費	0	257,930	257,930
事務用品費	557,505	94,551	-462,954
事務用備品費	0	0	0
広告宣伝費	649,852	331,421	-318,431
支払手数料	4,531,794	990,770	-3,541,024
振込手数料	0	12,669	12,669
諸会費	0	52,000	52,000
新聞図書費	0	5,060	5,060
支払助成金	0	0	0
修繕費	480,000	550,960	70,960
雑費	0	0	0
管理費	3,005,839	2,355,661	-650,178
役員報酬	244,203	97,119	-147,084
給料手当	655,226	367,714	-287,512
福利厚生費	19,287	7,560	-11,727
法定福利費	254,458	731,821	477,363
外注費	0	0	0
旅費交通費	162,324	251,444	89,120
通信費	123,496	160,694	37,198
寄付金	120,000	0	-120,000
助成金	0	0	0
会議費	2,336	156	-2,180
地代家賃	132,000	90,000	-42,000
水道光熱費	64,080	24,840	-39,240
消耗品費	43,281	19,447	-23,834
租税公課	78,149	12,665	-65,484
事務用品費	85,307	2,098	-83,209
事務用備品費	0	0	0
広告宣伝費	117,033	153,247	36,214
支払手数料	739,659	286,971	-452,688
諸会費	45,000	24,166	-20,834
新聞図書費	0	0	0
研修費	0	0	0
振込手数料	0	56,250	56,250
修繕費	120,000	54,940	-65,060
雑費	0	14,529	14,529
経常費用計 (c)	29,345,131	31,821,661	2,476,530
当期一般正味財産増減額 (d)=(b)-(c)	44,889	-1,318,979	-1,363,868
一般正味財産期首残高 (e)	15,533,743	15,578,632	44,889
一般正味財産期末残高 (f)=(e)+(d)	15,578,632	14,259,653	-1,318,979
0			
2. 指定正味財産の部(休眠預金)			
受取補助金等	47,922,410	0	-47,922,410
国庫補助金	0	0	0
民間助成金 (g)	47,922,410	0	-47,922,410
受取寄付金	0	0	0
事業指定寄付額	0	0	0
プロジェクト寄付額	0	0	0
支援事業寄付額	0	0	0
財団応援寄付額	0	0	0
設立発起人寄付	0	0	0
一般正味財産への振替額	26,339,292	27,666,305	1,327,013
受取補助金一般正味財産への振替額 (a)	26,339,292	27,666,305	1,327,013
受取寄付金一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額 (h)=(g)-(a)	21,583,118	-27,666,305	-49,249,423
指定正味財産期首残高 (i)	15,377,302	36,960,420	21,583,118
指定正味財産期末残高 (k)=(i)+(h)	36,960,420	9,294,115	-27,666,305
3. 正味財産期末残高 (f)+(k)	52,539,052	23,553,768	-28,985,284

令和4年度 貸借対照表
令和5年3月31日現在

一般財団法人ちくご川コミュニティ財団

(単位：円)

2023.4.1.

科目		当年度期首	当年度期末	増減
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金		0	0	0
小口現金			0	0
当座預金		2,818,319	619,682	-2,198,637
普通預金		1,920,788	1,874,592	-46,196
前渡金	(g)	0	660,000	660,000
前払費用	(g)	66,814	74,054	7,240
流動資産合計		4,805,921	3,228,328	-1,577,593
2. 固定資産				
(1)基本財産				
普通預金		3,001,064	3,001,088	24
基本財産合計	(a)	3,001,064	3,001,088	24
(2)特定資産				
寄付受入預金(子ども若者基金)	(b)	9,100,600	9,475,917	375,317
休眠預金等活用事業助成金	(c)	36,960,420	9,294,115	-27,666,305
特定資産合計		46,061,020	18,770,032	-27,290,988
(3)その他固定資産				
敷金		0	0	0
その他固定資産合計		0	0	0
固定資産合計		49,062,084	21,771,120	-27,290,964
資産合計	(d)	53,868,005	24,999,448	-28,868,557
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払費用		1,171,636	1,292,627	120,991
未払金				0
短期借入金		0	0	0
預り金		157,317	148,053	-9,264
前受金		0	5,000	5,000
流動負債合計	(e)	1,328,953	1,445,680	116,727
2. 固定負債				
				0
固定負債合計		0	0	0
負債合計		1,328,953	1,445,680	116,727
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産(休眠預金事業)				
基本財産運用益		0	0	0
受取助成金	(c)	36,960,420	9,294,115	-27,666,305
(内、基本財産への充当額)		(0)	(0)	(0)
(内、特定財産への充当額)		(36,960,420)	(9,294,115)	(27,666,305)
2. 一般正味財産				
一般正味財産合計	(f)=d-c-e	15,578,632	14,259,653	-1,318,979
(内、基本財産への充当額)		(3,001,064)	(3,001,088)	(24)
(内、特定財産への充当額)		(9,100,600)	(9,475,917)	(375,317)
正味財産合計	(c)+(f)	52,539,052	23,553,768	-28,985,284
負債及び正味財産合計 (CFベース)	(c)+(f)-(g)+(e)	53,801,191	24,265,394	-28,868,557

財産目録

(2023年3月31日現在)

一般財団法人ちくご川コミュニティ財団

単位：円

貸借対照表科目				金額
流動資産				
現金預金	現金	現金による寄付		0
	小口現金			0
	当座預金	ゆうちょ銀行一七九支店(0172112)		619,682
	普通預金	三菱UFJ銀行久留米支店(0232415)		13,000
		福岡銀行久留米営業部(3017002)		47,000
		筑邦銀行日吉町支店(3091966)		1,443,779
		ゆうちょ銀行七四八支店(8822715)		332,312
		ゆうちょ銀行七四八支店(9433751)		38,501
	《普通預金計》		1,874,592	
	《現金預金計》		2,494,274	
前払費用	切手・印紙、地代家賃、警備料		74,054	
前渡金	(株)リタワークスHP制作着手金		660,000	
流動資産合計				3,228,328
固定資産				
基本財産	普通預金	西日本シティ銀行東久留米支店(3089334)	運用益は管理業務の財源に使用	3,001,088
特定財産	普通預金	筑邦銀行日吉町支店(3094730)	寄付受入預金(子ども若者基金)	9,475,917
	普通預金	筑邦銀行日吉町支店(3099528)	休眠預金活用事業(2020年枠)	4,072,512
	普通預金	筑邦銀行日吉町支店(3107834)	休眠預金活用事業(2021年枠)	5,221,603
固定資産合計				21,771,120
資産合計				24,999,448
流動負債				
未払費用	未払費用	3月分給与・法定福利費・通信費・水光費		1,292,627
	未払金			
	前受金	4月分賃借料		5,000
	預り金	源泉徴収・特非) YNF他		148,053
流動負債合計				1,445,680
固定負債				
固定負債合計				0
負債合計				1,445,680
正味財産				23,553,768

財務諸表に対する注記

2023.4.1.

(1/2)

1. 重要な会計方針

(1) 「公益法人会計基準」を採用しております。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

(3) 事業年度(決算月)の変更

本年度より決算月を3月としております。

従来の決算月は7月でしたので、当年度の事業期間は、令和3年8月から令和4年3月の8カ月間となります。

2. 基本財産及び特定財産の増減額及びその残高

基本財産及び特定財産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	3,001,064	24	0	3,001,088
特定資産				
子ども若者基金	9,100,600	2,178,067	1,802,750	9,475,917
休眠預金受入預金	36,960,420	0	27,666,305	9,294,115
合 計	49,062,084	2,178,091	29,469,055	21,771,120

3. 減価償却すべき資産

減価償却すべき資産はありません。

4. 担保に供している資産

担保に供している資産はありません。

5. 保証債務等の偶発債務

保証債務等の偶発債務はありません。

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
今年度受けている補助金等は次の通りであります。

補助金の名称等	交付者	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
休眠預金助成金	一財)日本民間 公益活動連携 機構	36,960,420	0	27,666,305	9,294,115	指定正味財産

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりであります。

内 容	金 額
経常収益への振替額 民間助成金の事業使用による振替額	27,666,305

8. 重要な後発事象

重要な後発事象はありません。

以上